

## 電子黒板使用についての皆様のご意見・ご質問

電子黒板動画視聴キャンペーンでは、貴重なご意見をいただきありがとうございました。皆さまから頂いたご意見・ご質問は、キャンペーンにご協力いただきましたエプソン販売様にも共有し、以下のとおりお返事いただきました。

- ・ 電子黒板のメリットに気付いて頂きありがとうございます。ぜひ様々な機能を使ってみてください。
- ・ GIGA スクール構想で、現場の先生も子供もどんどんアップデートしています。学校での学びも情報量がどんどん増加しています。デジタルの良さ、アナログの良さを組み合わせて、より探求的な学びが進むと良いですね。
- ・ ICT は普段使いが大切と言われています。ICT を文房具のように日常的に使える環境が望まれますね。

・・・など。是非、附属図書館柏原本館2階にある電子黒板でいろいろ試してみてください。

### 1. 質問：今後も使ってみたいですか？

#### 1) 使ってみたい派のご意見

<E>はエプソン販売様コメント

- ・ 立体的な把握が容易
  - ・ 子どもたちが発表しやすい
  - ・ 子どもたちの意見を共有したり、比較・交流がしやすい
  - ・ PCの資料と板書が一度にできる
  - ・ ライブ的な授業に繋がる
  - ・ 授業の幅、可能性が広がる
  - ・ 指示を明確にしやすい
  - ・ 黒板と違って毎回消す必要がない
  - ・ 生徒も教師も分かりやすく授業に取り組むことができる
  - ・ ICT機器を使いこなすことができれば教育現場の可能性が広がる
  - ・ 作業の円滑化効率化につながり、教材準備の負担軽減ともなり、効率よく授業を展開できそう
  - ・ プリントアウト機能がデジタルのデメリットである記録の残りにくさを改善している
  - ・ 大きな画面で手元が大きく見える
- <E>大きく映すことで理解が進み、そこから生まれる「興味・関心」が、より探求的な学びにつながることも多いと言われています。
- ・ 黒板に図を書くよりも視覚的に理解しやすい
- <E>視覚的に理解しやすいと子供達は興味を持って学びに向かうことができますね。

- ・ 図形を動かせたり切り分けたり、2画面にできたり、多種多様な活用方法がある  
 <E>大きく鮮やかに映せて、電子ペンで書き込み、色を塗ったり。様々なコンテンツを利用し、楽しく探求的な学びができると良いですね。また、情報活用能力の育成にも役立ちそうです。
- ・ 非常にスピーディーかつ便利  
 <E>子供たちの興味・関心を高めるために授業における「テンポ」はとても重要と感じます。デジタルの良いところですね。ICTの利点は「かんたん、べんり、たのしい」ですね。
- ・ 特別支援において、有益な対応ができる  
 <E>通常使う教材では学びにくい子供もICTを使うと、楽しく学べることもありますね。  
 参考:東京書籍ホームページ 中学校学習者用デジタル教科書のご紹介  
<https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/chu/ict/dtxgakushu.html>
- ・ すべてをデジタル機器に頼るのではなく、うまくバランスを考え、よりよい授業手段を選択することが重要  
 <E>学校現場の先生方から「デジタルとアナログ(紙)を組み合わせる使うことが子供たちの学習の定着につながる」というご意見も頂いています。
- ・ デジタル教科書だけでなく普通の教科書や自作の教材を映してできることを知りたい  
 <E>PCでスライドやパワーポイント、キーノートなどで教材を作って映したり、動画を作って大きく映したり。是非いろいろ試してみてください。

## 2) 使わない派のご意見

- ・ 必要ない  
 <E>学習の形はさまざまで、電子黒板を使わなくても効果的な授業を行う方法はたくさんありますね。
- ・ 一人一台端末が浸透しており、わざわざ電子黒板にする意義を感じない  
 <E>GIGAスクール構想の整備が進み、同様のご意見含め様々なご意見を頂いています。これからも、よりよい学習環境の選択肢をご提案してまいりたいと思います。

## 2. その他のご意見ご質問

<図>は図書館

- ・ 今回予定が合わず、電子黒板体験会に参加できなかったため、もし機会があれば同様のイベントをもう一度実施してほしい。  
 <図>イベントのご要望をいただきありがとうございます。次年度に検討したいと思います。柏原本館2階東京書籍 Edu Studio に常設機材がありますので是非ご利用ください。
- ・ 図書館における電子黒板がある部屋は予約等をすれば、学生は自由に利用できるのでしょうか。  
 <図>図書館柏原本館2階の東京書籍 Edu Studio にある常設機材は、1階カウンターで申し込みをすれば学生の皆さんもご利用いただけます。

## <※ エプソン販売様にご回答いただきました>

- ・ 操作や接続が難しいのでは？ ICT 操作が苦手だとハードルが高いと思います。  
操作や接続は難しくないそうです。昔の電子黒板は操作性が悪かったり、起動に時間がかかったりしたため「電子黒板や ICT 機器は使いにくい」という意見もあったそうですが、今は使えるデジタルコンテンツも多く、操作性も良くなり、慣れれば多くの先生にご活用いただけるとの事です。
- ・ 各グループの進捗等をサムネイルで管理するという機能はエプソンさんの製品の機能によるもの？  
エプソン電子黒板の専用ソフトウェア(i-Projection)で実践できるそうです。
- ・ 使い方などを記載したホームページや資料などは小学校で見れるようになっているのでしょうか。  
エプソンではホームページでマニュアルやよくある質問などを公開しているそうです。学校でもインターネットを使って確認することができると思います。  
参考:サポート URL <https://www.epson.jp/support/portal/used/eb-1485ft.htm>
- ・ 指導者が画面に書き込むときに、自分の影で書いている部分が見えなくなるのが使い勝手の点で気になります。  
プロジェクター型の電子黒板は赤外線を使って電子ペンの動きを認識するそうです。ご指摘のように影の部分は書き込みが出来なかったり見えなくなったりします。黒板の上の壁に設置する場合は極力影が出ないように配慮して設置しているそうです。  
参考 <https://www.epson.jp/products/bizprojector/ekokuban/>
- ・ 学校での電子黒板の普及率はどのくらいでしょうか？  
2022 年度文部科学省調査では大型提示装置の整備率(普通教室)は 83%(電子黒板機能有り・無し合計)を超えているそうです。整備率や ICT 活用指導力などは文部科学省調査データをご参照下さい。  
参考 [https://www.mext.go.jp/content/20210830-mxt\\_jogai01-000009827\\_10.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20210830-mxt_jogai01-000009827_10.pdf)
- ・ 新人の教師が電子黒板を使いたいといって使わせてもらえるものなのでしょうか？  
多くの学校で新任の先生も利用できる環境にありますので、授業設計などと併せ教務主任の先生や先輩の先生方の指導を受けて、活用していただくことになると思いますとのこと。是非、積極的な活用に取り組んでください。
- ・ 導入にかかる費用や電子黒板を使いこなすことの難易度が分かれば知りたいです。  
図書館に常設している高機能モデル(EB-1485FT)は参考価格で 378,000 円(工事費別、消費税別:2023 年 2 月 20 日エプソンダイレクトショップ価格)だそうです。利用方法は高機能モデルも廉価版も大きく変わりません。(明るさやワイド投影、2 画面投影機能の有無の違いです)電子黒板を使いこなすことは難しいことではありません。操作方法は直感的になっていますので、基本操作を確認していただき、その後デジタル教科書やコンテンツを使ってみてください。PC やタブレットと同様に慣れることが大切ですので、触る機会を増やすことも近道のひとつです
- ・ プリンターを使う場合は、費用がとても高く、なかなか公立校には広まらないのではな

いかと思います。

昔と比べると機器代金も印刷コストも安くなっているそうです。プリンター複合機の一例では A4 カラーで 1 枚 2.2 円(インク代)、A4 モノクロで 1 枚 0.9 円(インク代)です。まだ少ないのですが公立学校も採用が広がっています。

参考事例 <https://www.epson.jp/products/bizprinter/showcase/takamoridai.htm>

- ・ 仙台の学校の授業の様子は理想的だが、あそこまでになるには、教師の電子黒板を活用する技術や、全学生分の電子機器が必要なので少し大変だと思った。

文科省が進めている GIGA スクール構想で義務教育学校(小中学校)は 1 人 1 台の端末(PC・タブレット)が整備されました。デジタルコンテンツや電子黒板など ICT 機器を一体的に活用するには、研修や教材研究が必要ですが、ICT 機器への「慣れ」も重要とされているそうです。日常的に使える環境が大切ですね。

以上